

タッチ式のデジタルサイネージコンテンツを 特別なプログラミングなしで短期間に制作できる

Windows7のマルチタッチ操作対応 「ゆう子でタッチ2.0」

ビーエム長野(株)が販売する「ゆう子でタッチ2.0」は、Windows7のマルチタッチ操作に対応したデジタルサイネージ制作・運用ソフトウェア。マルチタッチに対応したデジタルサイネージ端末をジェスチャ操作することや、Flashと同等以上の表現力をもったコンテンツの制作・再生が可能だ。

また、同製品のもうひとつ大きな特長として、タッチ式のデジタルサイネージコンテンツを、特別なプログラミングなしで短期間に制作可能であることがあげられる。柔軟な編集機能によって、ボタンの紐付けやスケジュール設定がマウス操作だけで可能なほか、ボタンなどの追加や移動も自由に行える。

■ ゆう子でタッチ2.0の主な機能

①マルチタッチでのジェスチャ操作に対応する。

※ マルチタッチに対応したタッチパネルが必要。

※ Windows XPあるいはWindows Vista上でも動作するが、マルチタッチなどの機能は利用できない。

②画像等の描画スピードが大幅にアップ。



営業担当者やコンパニオンが説明ツールとして利用している、マンションのモデルルームに設置されたタッチ式デジタルサイネージ。「ゆう子でタッチ2.0」を活用することで、312戸すべての部屋の間取りを階毎の平面図からポップアップ表示、また、間取りの詳細を確認するときなどの拡大・縮小操作を可能にしている。

ジェスチャによる画像の移動、拡大・縮小・回転などをスムーズに行うことができる。

③画像やテキストにシャドウ、ぼかし、半透明の効果を施すことが可能。また、画像などを拡大・縮小、移動、回転させることによって簡易アニメーションを表示することもできる。

④動画も画像と同じように扱うことが可能。動画の拡大・縮小・移動、回転、半透明化、重ね合わせ、図形によるマスキングなどを自由に行える。また、動画の上にテキストを重ねることもできる。

⑤画面上の自由な位置にテロップを表示可能。テロップの背景色を半透明にしたり、グラデーションをつけることもできる。

分譲マンションの説明ツールを タッチ式デジタルサイネージに集約

川崎市矢向駅徒歩5分の住宅地に建設中の全312邸「ラグゼコート」(JV4社共同事業)のモデルルームでは、説明ツールのひとつとして、「ゆう子でタッチ2.0」を活用したタッチ式デジタルサイネージを導入。60インチデュアルタッチ(Windows7のみ対応)対応のディスプレイが横置きで3台、違和感のないように壁に埋め込んだかたちで設置されている。

従来パンフレットや、ポスターパネルを用いて来場者に説明していたものをタッチ式デジタルサイネージに集約。営業担当者をはじめ、説明コンパニオンなどが画面をタッチ。外観CGや敷地、設備・仕様などの各コンテンツを切り替えながら詳細を説明している。

コンテンツはパンフレットデータを流用し、「ゆう子でタッチ2.0」でタッチコンテンツに加工。指操作による画面やイメージ写真の切り替えに加え、拡大・縮小・移動など、従来のつくり方ではデジタルサイネージに簡単には搭載できなかった機能がふんだんに取り入れられている。

■ 発注元

東レ建設(株)、大東通商(株)
相鉄不動産(株)、第一交通産業(株)

■ 企画・制作

(株)TBS トライメディア

■ 制作協力

シャープシステムプロダクト(株)

ビーエム長野(株)



タッチ式デジタルサイネージが設置された川崎市に建設中のマンション「ラグゼコート(全312邸:JV4社共同事業)」のモデルルーム。

問い合わせ

ビーエム長野(株) デジタルサイネージ事業部
東京都千代田区二番町10番地3 ビーエム長野ビル
Tel.03-3234-2347
dsinfo@bmn.jp
http://www.bmn.jp